上小っず

NO.12

上野原市立上野原小学校

発行日:平成 29 年 3 月 23 日 発行者:校 長 中込 一雄 TEL:62-3104



輝かしい未来に向かって

~6 年生 100 名の巣立ち~

3月22日(水)に第143回の卒業証書授与式が行われ、100名の卒業生一人一人に卒業証書を渡しました。はなむけの言葉では、卒業生が5年生の時に移動教室で行った清里の、「開拓の父」と言われているポールラッシュ博士の生き様を紹介し、「夢を持ち最善を尽くす」ということについて話しました。

「ポール博士は、清里の農業振興と生活改善という大きな夢を持ち、理想を抱き、計画し、実行してきました。そして、成功したのです。『夢なき者に成功なし』という言葉があります。夢を持ってください。博士は「Do Your Best.」という言葉も残しました。『最善を尽くせ』という意味です。『夢を持ち、最善を尽くすこと』が、成功への第一歩なのです。みなさんも、これからの長い人生の中で様々な困難があることでしょう。『夢を持ち、最善を尽くす』それが、困難な道をも切り拓くことになると思います。」

これから続く長い人生、精一杯生きてほしいと思っています。そして、今生きていることに感謝しながら、輝かしい未来を切り拓いていって欲しいと思っています。自分らしく活躍することを心から期待し、はなむけの言葉としました。



卒業生が入場し開式です。



証書が授与されました。



「卒業式の歌」の合唱です。



校庭で見送りました。

学校評価の結果を生かして

今、社会が複雑化する中で、いじめ・不登校、問題行動など子どもたちの現状には様々課題が山積しています。そういった課題を解決するためには、学校が家庭や地域と連携・協力し、これらの課題について一体となり取り組む必要があります。その手だての一つとして、学校教育法には学校評価が位置づけられています。「学校評価を実施し、学校運営の改善を行うこと」「評価結果などの情報提供をすること」などが規定されています。

本校でも、PTA 役員の皆様に協力をいただく中で、学校評価を実施いたしました。また、職員を対象に自己評価を7月と12月の2回実施いたしました。その結果について、本校評議員の皆様やPTA役員の皆様に、ご意見をいただきました。以下、評議員の皆様から頂いたご意見と自己評価のまとめです。今後、成果があった点については一層伸ばしていけるよう、また課題については具体的な方策を検討し改善できるようにしたいと思います。

評議員の皆様から頂いたご意見

- ○PTA スクールで行ったネットの危険に関する講演は有意義であった。スマホ、インターネット等についての指導をより積極的に行ってほしい。
- ○登下校時の様子、学校外での様子を見る中で、子どもたちの挨拶や礼儀正しさに 感心する場面が多くある。
- ○交通安全について、通学路の見直し改善等について通学路安全推進会議への依頼 や交通指導員、ボランティア等の取り組みは大切である。地域のボランティア(新 町一丁目お父さんクラブ・警察地域課ふれあい)等を活用しながら、地域に応じ た対策を進めると良い。
- ○先生方がゆとりを持って、健康で頑張れることが子どもたちのためにもなる。また、「いじめ」についても、先生が子どもと向き合う時間がないと、しっかりした対応ができない。
- ○「6年生を送る会」の感動的で温かな雰囲気、ランチルームの様子等、先生方の 日々の指導の素晴らしさを感じた。
- ○読書の習慣づくりには新聞を活用することも有効だと思うので、進めてほしい。
- ○地域の方が子どもたちに挨拶をしようとしたところ、「知らない人に声をかけられた」という反応を示されてしまったことがある。地域としても自分たちの住む地域の子どもたちと顔見知りになるようにはたらきかけていくことが大切である。

自己評価のまとめ

全体評価平均 1学期 4.2 2 学期 4.3 (1~5 の 5 段階評価平均)

校内研究の項目は高い評価になっている。これは、授業改善プランの指定を受けたことで、 多忙の中でも熱心に教職員が取り組んできた成果である。しかし、図書館教育、特別支援教育の校内指導体制は平均が3点台なので、改善を図る必要がある。

全体的には、各教職員が十分責任を果たしている結果であり、その蓄積によって学校運営全体の向上に結びついている。しかし、努力し改善方向に向いてはいても、まだまだ課題はあり、その解決に悩みれ苦労している状況もある。分掌に全力を尽くすことはもちろん、互いの関わり範囲を拡げて援助し合いながら、全校が一丸となって「チーム上小」として学校経営の具現化に努力していく必要がある。

4月の予定

7/10/J/KE		
日	曜	主な予定
1	土	
2	日	
3	月	学年始休業日
4	火	学年始休業日校庭開放1時~4時
5	水	学年始休業日6年登校1:20
6	木	入学式(新1年 新6年)
7	金	始業式・新任式 1年送り下校(~12日)
8	土	
9	日	
10	月	2~6 年給食開始 1~6 年身体測定
11	火	委員会 木曜日課 1~3年視力検査
12	水	1, 2, 3, 5年聴力検査 1年送り終了
13	木	火曜日課 1年給食開始 1~3年総会 歯科検診
14	金	1年平常授業 4~6年・けやき総会 4,6年聴力
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	6年全国学力調查 3·5年県学力調査 新旧専門部
19	水	眼科検診 集団下校
20	木	
21	金	1年生を迎える会 内科検診 新旧執行部会
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	耳鼻科検診 クラブ
28	金	授業参観 Р総会 Р歓送迎会
29	土	昭和の日
30	日	

校庭の開放日について

さて、本校の学区内には児童が遊び場として過ごせる公園や施設が少ないため、子供たちの居場所作りにむけて、北教研半日日課の午後と長期休業中の数日を、「校庭開放日」として校庭を開放します。春休み中の開放日時は以下の通りです。

3月28日 (火) 1時~4時 3月31日 (金) 1時~4時

4月 4日 (火) 1時~4時

校庭で遊ぶ場合には注意事項をよく確認 し、各家庭において御指導をお願いいたしま す。

- ○校庭を使用できるのは本校児童のみとする。
- ○家の人に行き先を伝えて遊びにくること。
- ○学校へは歩いてくること。(自転車は禁止)
- ○食べ物、飲み物、遊び道具は持ち込まない こと。(サッカーボール・ソフトバレーボ ールは持ってきて良い)
- ○安全に注意して、仲良く遊ぶこと。
- ○何か困った時には職員室の日直の先生に 伝えること。
- ○トイレを使う場合は職員室の先生に声を かけて、校舎のトイレを使うこと。
- ○午後4時には校庭を出ること。

ルールを守って楽しく元気に遊んで欲しい と思っています。

6年生に感謝をこめて

2月28日に「六年生を送る会」が行われ、6年生を囲んで、楽しいひとときを過ごしました。まず、6年生一人一人が小学校の思い出や下級生へのメッセージを一言ずつ発表し入場しました。「上小、最高!」「給食、美味しかった!」等、上小での楽かった思い出が伝わるメッセージでした。各学年からは、リーダーとして活躍してくれた6年生に感謝の気持ちが伝えられました。クイズや「ありがとう」の全校合唱もしました。下級生にとても優しい6年生でしたので、感極まり涙を流す児童もいました。今回、企画運営の中心になった5年生も立派でした。6年生が卒業した後も上小のリーダーとして活躍してくれることを期待しています。



中学の先生による出前授業 もうすぐ中学入学を控えた6年 生を対象に、上中の先生方に来て いただき出前授業を行いました。 英語、数学、理科の授業を30分 ずつ行いました。教科担任制につ いても体験できました。



ビックツリーヒーローチャレンジ 児童会では、あいさつt-0-、なかよしt-0-など様々なt-0-を募集 し、たくさんのt-0-が誕生しました。そして、カードに書いてもらい、 貼りだしました。大ケヤキと大きなt-0-ができあがりました。



入学生説明会 来年度入学する保護者の皆様に 来ていただき、スライドも使い ながら、本校の特色や入学まで の準備などについて説明をしま した。新入生が登校する入学式 が楽しみです。

2. 3月の行事あれごれ

第1回校庭開放日 40名ほどの児童が訪れ、サッカーなど思い思いに遊んでいました。下校時間の4時までたっぷり遊んで帰っていきました。春休みも実施します。



ありがとう給食会 美味しい給食を作ってくださる 調理員さんをお招きしました。自 己紹介していただいたり、給食に ついてのケイスをしたり、楽しい ひとときを過ごせました。



6年生を送る会 キャンドルの炎とともに、今年 度の児童会役員から新しい役員 に「上小伝統の火」が引き継が れました。感動する一場面でし た。



校長室の窓

「上小っ子」NO10で「上小の4つの宝物」について書かせていただきましたが、宝物のひとつ「ランチルームでの消音」について、お手紙を頂きました。 概略は次の通りです。

「現代ではにぎやかにおしゃべりをしながら食した方が消化も良く美味しく食べられるという。このような時代におしゃべりをさせずに黙々と食事をとらせることが果たして良いことなのかどうか疑問である。」

消音行動について、同様に考えている方は少なくないと思います。初めて本校に赴任した職員の中にも同様に感じた職員もいました。しかし、静かな環境の中では、メニューや食材としっかり向き合い味わって食べることができます。また、500人近い児童が思い思いに会話する喧噪とした中で食事をすることに耐えられない児童もいます。(そういった理由で、ランチルームを使わなくなった学校もあります。)本校ではそのような理由で「小音」「消音」を指導していますが、決して今がベストとは捉えておりません。絶えず目の前の児童の状況や社会の変化を考えながら、「今考えられるベスト」で対応していこうと思います。

今回、お手紙を頂いてまず感じたことは、学校便りをしっかり読んで、上小のことを一生懸命考えてくださっている方がいることへの感謝です。今後もお気づきのことがありましたら、ご意見を頂けると幸いです。

最後に1年間「上小っ子」をお読みいただきありがとうございました。「校長室の窓」では、校長としての思いを書かせていただきました。時に失礼があったかもしれません。お許しいただきたいと思います。平成29年度も「上小っ子」をよろしくお願いいたします。

